

平成17年(2005年)4月19日

財団法人8020推進財団
理事長 井 堂 孝 純 様

豊中市健康づくり推進員会
会長 草 野 禮 治

「体の健康は、お口の健康づくりから」ワークショップ事業
に関する報告書(結果・事後評価)について

平素は、当推進員会の健康づくり活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、平成16年(2004年)6月30日付けで申請を行い、7月26日付け8020財団発第51号により交付決定いただきました標記の事業が、お陰様をもちまして無事終了いたしましたので、結果・事後評価等について、別添のとおりご報告いたします。

記

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1. 事業報告書(結果・事後評価) | 別添資料1のとおり |
| 2. 収支報告書 | 別添資料2のとおり |

■お問合せ 豊中市健康づくり推進員会事務局
豊中市健康福祉部健康づくり推進課
歯科・栄養・療法グループ主任 歯科衛生士 加藤 佐知子
企画グループ 佐々木 利雄
〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1
☎06-6858-2285/FAX06-6846-6022

健康とよなか 21「お口の健康づくり」プロジェクト

～「体の健康は、お口の健康づくりから」ワークショップ事業～

1 はじめに

豊中市は平成 14 年(2002 年)3 月、「健康日本 21」の地方計画に位置付ける「健康とよなか 21(*)」を、翌年、「健やか親子 21 とよなか～豊中市母子保健計画Ⅱ(**)」を策定し、市民の健康づくりに取り組んでいます。

中でも「健康とよなか 21」では、「歯の健康」分野を健康課題の中に位置づけ、歯科健診の受診率の向上などを目標値として掲げています。

しかし、お口の健康に関心を持つ市民はまだ少なく、豊中市の市民歯科健診の受診率は平成 15 年度(2003 年度)で 2.06%でした。

そこで、次の三項目を目標に掲げ、市民の立場で健康づくりに取り組む豊中市健康づくり推進委員会(***)が主体となり、「お口の健康づくり」プロジェクト ワークショップ事業を開催。

参加した市民がお口の健康に関する正しい知識を修得するとともに、歯科医師会や公益法人などの関係団体と連携して課題の解決に向けた事業を企画立案、自ら実行、その成果を評価し、お口の健康づくり運動を広げ地域口腔保健の推進を図ろうというものです。



健康とよなか 21

■ 「お口の健康づくり」ワークショップの目標

- 1 市民歯科健診の受診率を上げる
- 2 歯科医による検診やアドバイスで、正しいお口のケアの知識を身につける
- 3 市民と歯科医が課題を共有し、かかりつけ歯科医をもつ人の増加をめざす

(*) 健康とよなか 21 平成 22 年度(2010 年度)を目標にした豊中市の健康づくり運動計画。生活習慣の改善や健康づくりに必要な環境整備を関係機関、市民団体などと連携して推進することにより、市民一人ひとりの自発的な健康づくりを支援する。栄養・食生活、運動・身体活動、休養・心の健康づくり、たばこ、アルコール、歯の健康、健康診査と事後指導の 7 分野を設定している。豊中保健所と協力して平成 13 年(2001 年)3 月策定。

(**) 健やか親子 21 とよなか ～豊中市母子保健計画Ⅱ 平成 22 年度(2010 年度)を目標にした豊中市の母子保健計画。子どもの人権尊重を基本に、母子保健の課題に対する目標を設定。市民一人ひとりにとって安心の子育て・子育てができる環境づくりに取り組むとともに、ともに支えあう子育て支援ネットワークづくり運動を総合的・効果的に推進し、その行動を通じて男女共同参画社会の実現を図る。平成 14 年(2002 年)3 月策定。

(***) 豊中市健康づくり推進委員会(草野禮治会長、36 小学校区 309 人) 地域における市民健診・がん検診、健康教室、とよなか百景健康づくりふれあいウォーク、健康づくりフォーラムなど、市民の健康づくりを積極的に推進する市民ボランティア団体。平成 10 年憲法記念市長表彰、14 年保健事業推進功労厚生労働大臣表彰。昭和 61 年(1986 年)9 月発足。

2 事業の概要

1. 事業名 健康とよなか 21 「お口の健康づくり」プロジェクト
～「体の健康は、お口の健康づくりから」ワークショップ事業～
2. 目的 ①市民の歯科健診の受診率を上げる
②歯科医による検診やアドバイスで、正しいお口のケアの知識を身につける
③市民と歯科医が課題を共有し、かかりつけ歯科医をもつ人の増加をめざす
3. 主催 豊中市健康づくり推進員会
4. 後援 (財)8020 推進財団、(社)豊中市歯科医師会(*)、(社)大阪府歯科衛生士会(**)、
豊中市、サンスター(株)
5. 期間 平成 16 年(2004 年)9 月 16 日(木)～平成 17 年(2005 年)3 月 20 日(日)
6. 参加者 豊中市健康づくり推進員
平均年齢 65 歳 23 人(女性 22 人・男性 1 人)
(内 訳)
A グループ(北部) = 女性 6 人(平均年齢 66 歳、61 歳～77 歳)
B グループ(中部) = 女性 8 人・男性 1 人(平均年齢 64 歳、52 歳～67 歳)
C グループ(南部) = 女性 8 人(平均年齢 65 歳、56 歳～75 歳)
7. スタッフ
(社)豊中市歯科医師会
(社)大阪府歯科衛生士会
サンスター(株)
豊中市
8. 参加費 無 料

(*) 豊中市歯科医師会 沢田好章会長、会員 242 人<平成 16 年(2004 年)12 月 1 日現在>。

(**) 大阪府歯科衛生士会 小高則子会長、会員 1,031 人<平成 16 年(2004 年)10 月末日現在>。

9. 内 容

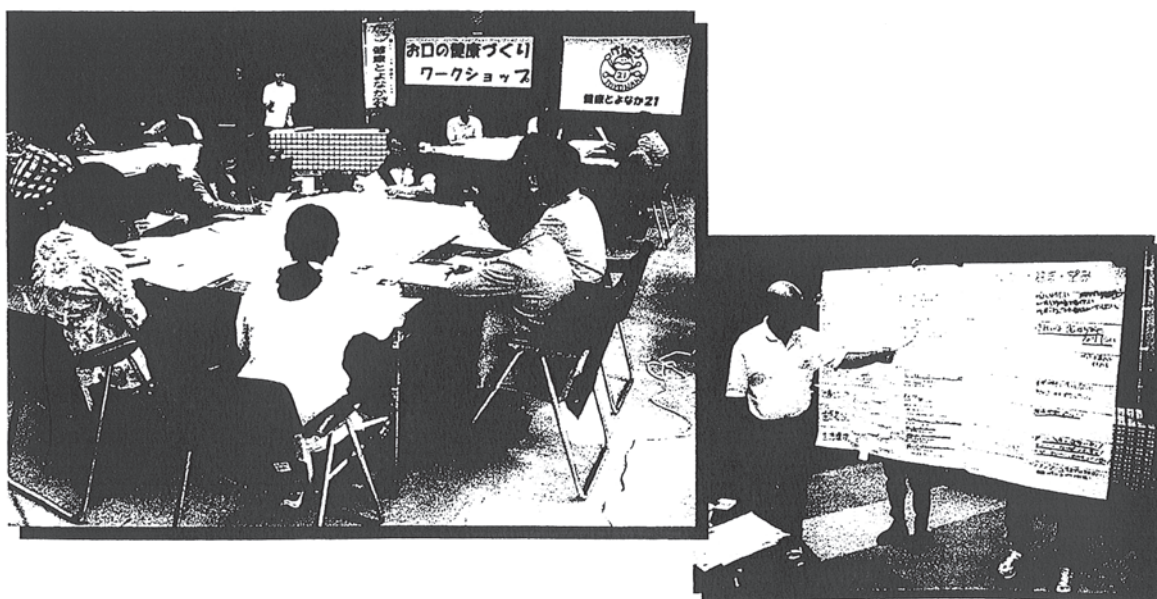
回	とき	ところ	内 容
1	9月16日(木) 13:30~16:00	市民会館 第2会議室	自分や家族、隣人、歯科医も含め、お口の健康について感じていること、お口のケアに対する問題点や課題を抽出します。
2	10月7日(木) 13:30~16:00	市民会館 第2会議室	歯科医によるパネルディスカッション。市民や歯科医が抱える問題点や課題を参加者とともに考えます。
	↓	各歯科医院	市民歯科健康診査を受診、自分のお口の年齢や歯の数、健康状態を把握します。
3	10月21日(木) 13:30~16:00	中央公民館 講座室	課題を共有化し、歯科健診受診率アップのための施策アイデアをグループごとに出し合います。
4	11月4日(木) 13:00~15:45	市役所2階 大会議室	3グループが歯科医師に施策アイデアをプレゼンテーションし、歯科医師の協力を得ながら実行に向けた準備を行います。
	↓		約3か月をかけて施策アイデアを実施。(市民歯科健康診査受診キャンペーン等)
5	2月24日(木) 13:30~16:00	市民会館 第2会議室	実行した「お口の健康づくりのための施策アイデア」の成果を検証、評価するとともに、次年度への取り組みについて考えます。
6	3月20日(日) 13:00~16:00	とよなか男女共同参画推進センターすてっぷホール	3グループがワークショップの成果を市民や関係者に発表する「お口の健康づくりフォーラム」を開催。修了証授与。

3 「お口の健康づくり」ワークショップ

第1回「課題とキーワードの抽出」

1. と き 平成16年(2004年)9月16日(木)13時30分~16時
2. ところ 豊中市民会館第2会議室
3. 内 容 自分や家族、隣人、歯科医も含め、お口の健康について感じていること、お口のケアに対する問題点や課題を抽出します。
4. 今日の予定
 - 13:30 開会
 - ①豊中市の「お口の健康づくり」の現状
 - ②ワークショップの進め方
 - ③スタッフ紹介
 - 13:45 ④グループごとに自己紹介、リーダー(発表者)などを決めます
⑤テーマの内容についてタックシールに書き、模造紙に貼りつけます
⑥ディスカッション
 - 14:50 (休憩)
 - 15:00 ⑦グループごとにまとめ作業、キーワードを書き出します
 - 15:20 ⑧各グループ発表(各10分程度)
 - 15:50 次回予告・連絡事項
 - 16:00 閉会

参加者の居住地ごとに北部・中部・南部グループに分かれて、「自分～家族～近所の人」の「お口の健康」についての課題や疑問、「こうなりたい」という欲求について、市民自身が話し合いを行い、意見をとりまとめました。

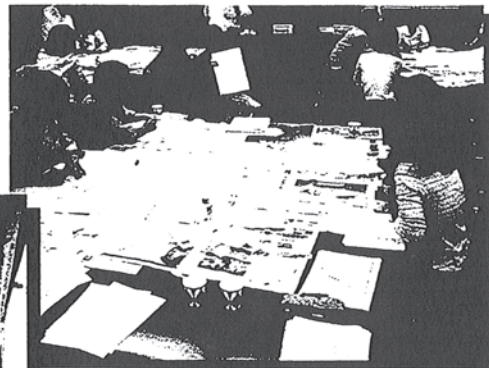


お口の健康についての自己矛盾を整理し、その重要性に「気づき」ます。

第2回「歯科医師によるパネルディスカッション」

1. と き 平成16年(2004年)10月7日(木)13時30分~16時
2. ところ 豊中市民会館第2会議室
3. 内容 第1回で出された課題をテーマに、歯科医師によるパネルディスカッションを行い、課題に対する回答や意見から共通の目標について検討します。
4. 今日の予定
 - 13:30 ①開会・パネリスト紹介
豊中市歯科医師会専務理事 宮田 敏生さん
豊中市歯科医師会常務理事 荒木 雅夫さん
豊中市歯科医師会医療保険担当理事 大倉 由嗣さん
 - ②歯科医師から見た歯医者さんの現状
 - ③パネルディスカッション(以下「キーワード」)
 - 「治療は嫌、お金が高い、でも実際は予防ができていない」
→ 「予防の正しい知識の習得と今後のお口の健康づくり」
 - 14:50 (休憩)
 - 15:00 ディスカッションを聞き、A~Cグループと歯科医師グループがそれぞれ市と歯科医師の共通の目標を探り、模造紙に記載。
 - 15:40 各グループ発表(各5分程度)
 - 16:00 次回予告・連絡事項・閉会

第1回のワークショップで出た課題や疑問に対して、それぞれの地域の歯医者さんが本音で答えます。



歯科医師が本音で答えることで「身近さ」「信頼関係」をつくり出します。
市民はお口の問題についての解決手段を「理解」します。

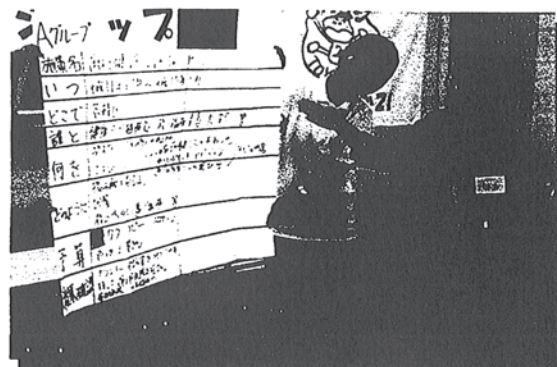
第3回「施策の企画立案」

1. とき 平成16年(2004年)10月21日(木)13時30分~16時
2. ところ 豊中市立中央公民館
3. 内容 課題と目標をもとに、健診受診率アップなど「お口の健康づくりのための施策アイデア」を企画立案します。
4. 今日の予定
 - 13:30 開会・本日の予定
 - 13:35 グループワーク「お口の健康づくりのための施策アイデア」を企画立案
 - (1)課題と目標を理解する
 - (2)企画立案(具体的に)
 - ①施策名 「 」
 - ②いつ いつから、いつまで
実施するか
 - ③どこで 実施エリアは
 - ④誰と 対象者は
 - ⑤何を 内容は
 - ⑥どのように 方法は
 - ⑦予算 予算の概算は
 - ⑧結果確認 実施結果をどうするか
 - 14:30 各グループ発表、質疑応答
 - 15:00 (休憩)
 - 15:10 グループワーク・企画立案の修正
 - 15:40 各グループ発表
 - 16:00 次回予告・連絡事項・閉会

施策(例)

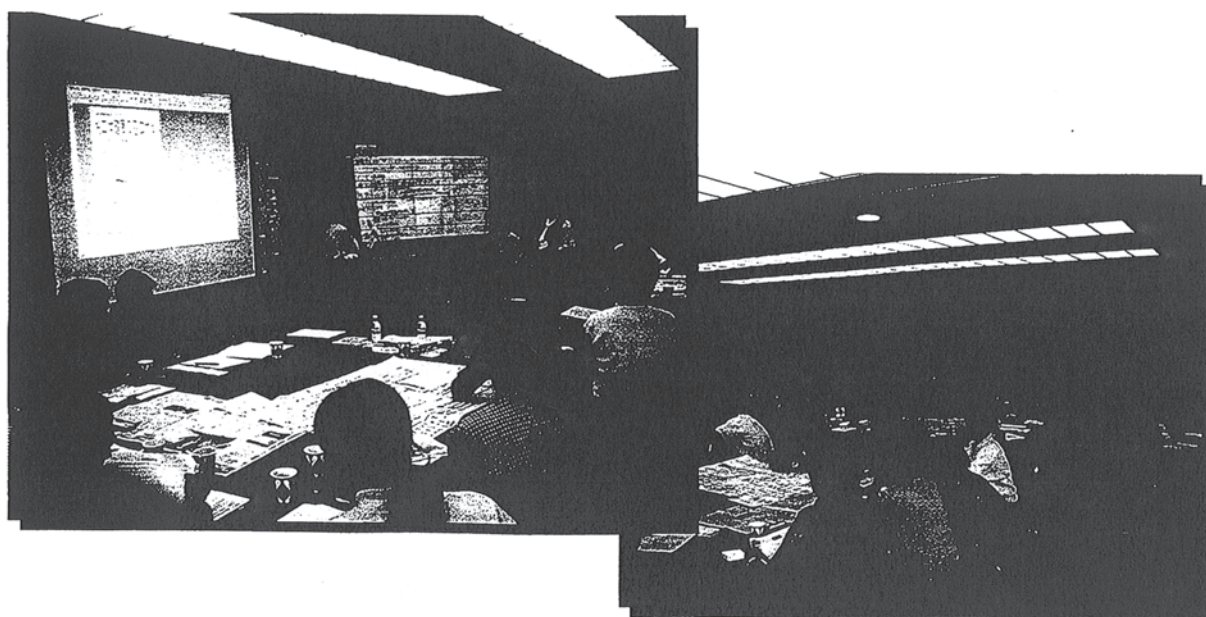
- ・歯科健診受診キャンペーン
- ・歯科医院マップ
- ・健康とよなか21 歯科医院ステッカー
- ・検診マニュアル(専門用語集、聞いておきたいポイント、歯ブラシなどの選び方、ブラッシング方法、お口の健康チェック表)
- ・マーケットなどへの働きかけ
- ・歯磨きできる公共の洗面所
- ・お口の健康づくりフォーラム

「市民歯科健診の受診者を増やそう」をテーマに、市民がもつ「いいことは広めよう」の精神から、それぞれの地域らしい独自の企画アイデアを考えます。



第4回「施策案のプレゼンテーション」

1. とき 平成16年(2004年)11月4日(木)13時~15時45分
2. ところ 豊中市役所2階大会議室
3. 内容 「お口の健康づくりのための施策アイデア」を歯科医師にプレゼンテーション(発表)し、これから約3か月をかけて施策を実行していきます。
4. 今日の予定
 - 13:00 グループワーク「プレゼンテーションに向けた施策のまとめ」
 - 13:40 開会・本日の予定
「歯医者さんへのプレゼンテーション」
(参加歯科医師10人)
会長 沢田好章さん・副会長 森山博史さん・副会長 後藤眞一さん
専務理事 宮田敏生さん・常務理事 伊藤恒生さん・理事 岡村 真さん
理事 平田尚秀さん・理事 早田倫久さん・理事 橋本圭司さん・
理事 近藤 篤さん
 - (1)Aグループのプレゼンテーション(10分、発表者2人)
 - (2)Bグループのプレゼンテーション(10分、発表者2人)
 - (3)Cグループのプレゼンテーション(10分、発表者2人)
 - 14:15 歯医者さんからの総括とアドバイス
 - 14:30 (休憩)
 - 14:45 グループワーク「施策実行への準備作業」
 - 15:45 次回予告・連絡事項・閉会

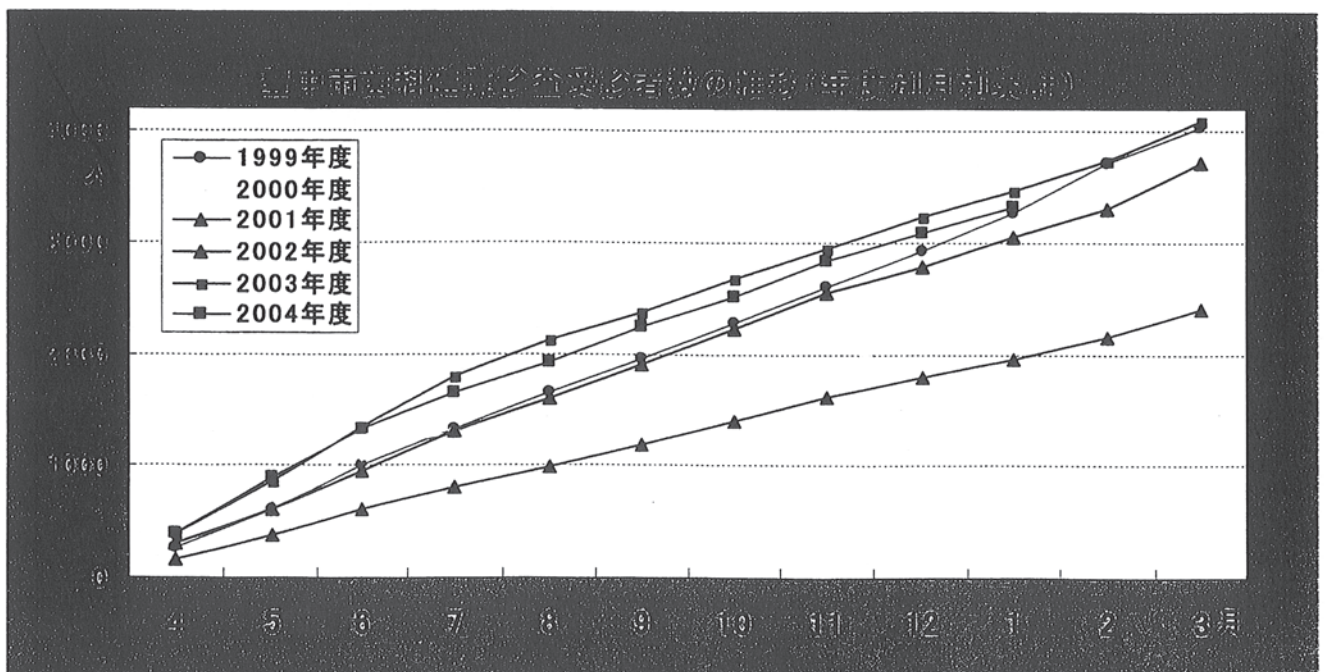


市民にお口の健康づくりへの熱意が芽生えました。そこから生まれた企画アイデアを実行するために「行動」を開始します。

第5回「施策実施後の評価」

1. とき 平成17年(2005年)2月24日(木)13時30分~16時
2. ところ 豊中市民会館第2会議室
3. 内容 ワークショップと市民歯科健診受診キャンペーンの評価を行い、新たな課題を見出し、解決に向けた方策を検討します。また、お口の健康づくりフォーラム(第6回ワークショップ)の運営について協議します。
4. 今日の予定
 - 13:30 開会・本日の予定
 - 13:35 「市民歯科健診」受診者数の推移報告
 - 13:45 グループワーク
 - ・ ワークショップ参加前の気持ちと参加後の気持ちの変化
 - ・ 歯科健診受診前の気持ちと受診後の感想
 - ・ 施策の企画立案、実施後の感想
 - ・ 新たな課題解決への方策の検討
 - 14:45 (休憩)
 - 14:55 各グループ発表、2005年度への期待とアイデア
 - 15:25 お口の健康づくりフォーラム(第6回ワークショップ)の運営について
 - 15:55 閉会

活動を行った平成16年(2004年)10月から平成17年(2005年)1月までの市民歯科健診の受診人数の伸びなどを確認し、これまでのふりかえり作業を行います。



今回の活動からは市民歯科健診の受診者数増加には至りませんでした。
(平成16年6月から200円の負担金制度が導入されたことも1つの要因と思われます。)しかし今回の活動と結果から「次の課題」が見えてきます。

第6回「お口の健康づくりフォーラム」

- 1、 目的 (財)8020 推進財団歯科保健活動事業の助成を受け実施してきた「お口の健康づくり」プロジェクト ワークショップ事業の中で、市民が企画立案、実行した「市民歯科健診キャンペーン」の成果についてフォーラムを開催し、市民自らが関係者や市民に「お口の健康づくり」を普及啓発し歯科保健の向上を図ります。
- 2、 後援 健康おおさか21 推進府民会議、大阪府、豊中保健所
(社)豊中市歯科医師会、(社)大阪府歯科衛生士会
(社)大阪府歯科技工士会豊中支部、(財)8020 推進財団
健康日本21 推進フォーラム、豊中市
- 3、 協賛 サンスター(株)
- 4、 と き 平成17年(2005年)3月20日(日)13時~16時
- 5、 ところ とよなか男女共同参画推進センター「すてっぷ」ホール(定員150名)
- 6、 対象 市民、歯科医師、歯科衛生士、事業者、自治体、関係機関、関係団体等
- 7、 参加費 無料

■ 第1部

開会の言葉

(1)「お口の健康づくり」プロジェクト紹介

(2)「お口の健康づくり」プロジェクト報告「してますか?お口の定期点検」

①Aグループ「『歯のことやったらもういいわ〜』でいいんですか?でも健口でいたい」

②Bグループ「まず知ろう!お口の中を」

③Cグループ「知って得するお口の健康~豊中愛口会」



④ワークショップ参加歯科医師3人

「歯医者さんも変わる～求められる住民との対話」

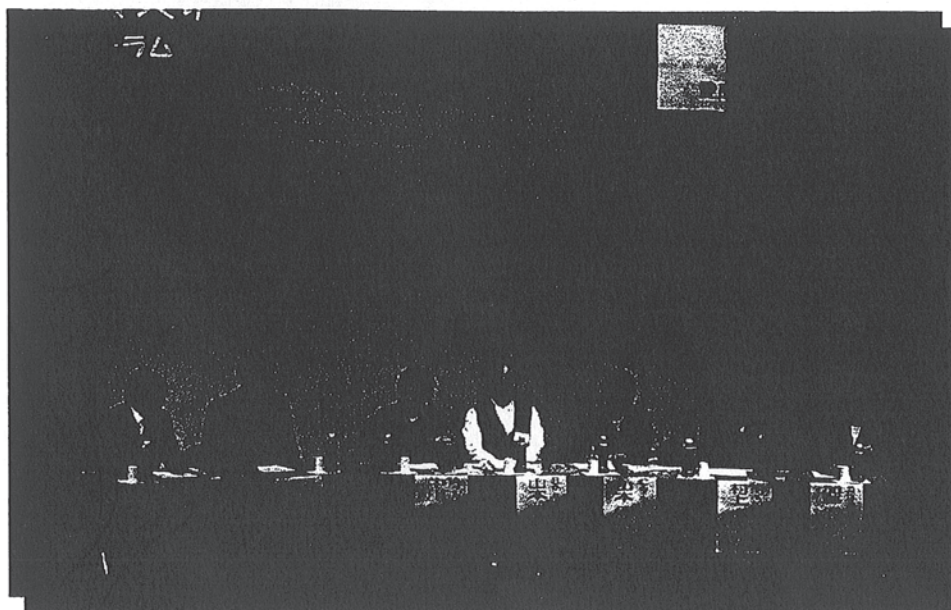


■ 第2部

(3)「お口の健康づくり」プロジェクト座談会

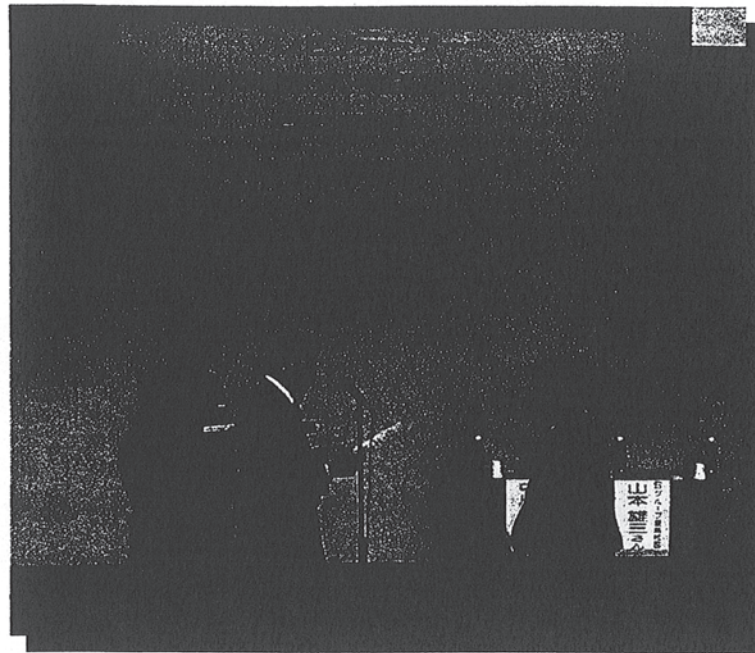
「広げようオーラル・ヘルスコミュニケーション」

ワークショップ参加市民3人・歯科医師・歯科衛生士・事業者・進行 7名

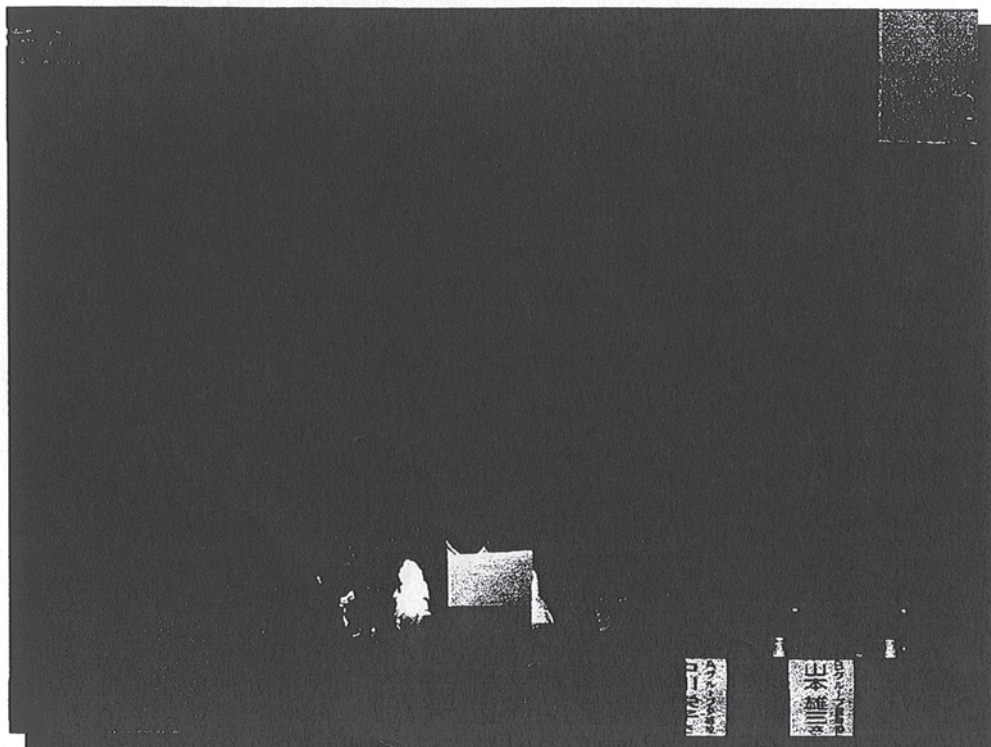


(4) 「お口の健康づくり」プロジェクト ワークショップ事業

修了証書および記念品贈呈



(5) お口の健康づくり宣言



閉会

4 市民が企画・立案・実行した施策

(1) 手づくりポスターとチラシで 8020 をめざそう

ワークショップ A (北部) グループは、メンバーが作成したポスターを地域に掲出し、キャンペーンチラシを自治会、公民分館、校区社協等で回覧・配布し啓発を図りました。

1. とき 平成 16 年 (2004 年) 11 月 15 日 (月) ~ 17 年 (2005 年) 2 月 20 日 (日)
2. ところ 豊中市北部地域ほか
3. 内容 自治会、公民分館、校区社協等で回覧・配布

健康とよみかた「お口の健康づくり」プロジェクト ~市民歯科健診受診キャンペーン~

お口は健康の窓口です

【元気な歯や歯ぐきづくりが健康な身体をつくります。

自身のお口を知るために市民歯科健診を受けよう！
一生自分の歯で生きるために今すぐ始めよう。8020！



目標 (お口の健康を守る会)
歯と口の健康を守る会 (歯) は、健康と生活の
お口の健康 (歯) は、健康と生活の健康を守る
会体の健康 (歯) は、健康と生活の健康を守る
会体の健康 (歯) は、健康と生活の健康を守る

★ 受診には市が発行する受診票が必要です。
市民歯科健診受診票の発行方法 豊中市歯科健診センター

★ 受診票が必要です

パソコンが得意なメンバーを中心に作成しました。

ポスター(上)はラミネート加工をして地域の掲示板に貼っていきました。

チラシ(右・上下)を見て市民歯科健診を受けようと思った人は、表面(右上)下ランに記入して歯科に持参してもらいます。受診した人の人数が歯科医院からの報告でわかります。

健康とよみかた「お口の健康づくり」プロジェクト
市民歯科健康診査を受けましょう
市民歯科健診受診キャンペーン
(2004年11月~2005年2月)

豊中市の
市民歯科健診について

- ◆ 対象者: 30歳以上の市民
歯が欠けて歯科健診がある場合は対象外
- ◆ 費用 (一部負担金): 200円
70歳以上の人は無料です。看護費、生活保護受給者の人は、
一部負担金の不要制度があります。(要申込み)
- ◆ 受診方法: 市発行の『受診票』を持って、
取扱い歯科医院へ
・歯科健診は1回(期間: 4月~翌年3月)受診出来ず。
取扱い歯科医院は、お問合わせいただくか、市のホームページ
などでご確認ください。
・予約が必要な場合がありますので、必ず各取扱い歯科医院に
お問合わせください。

市民歯科健診に関するお問合せ
豊中市健康づくり推進課 電話 66558-2291

■ 全額: (8020を達成する会)
: 当会は健康とよみかた「お口の健康づくり」プロジェクトに
参加する。市民のボランティア団体です。市民の立場で、市民
歯科健診をお勧めしています。

※必要事項をご記入の上、受診時に
受診票と一緒に歯科医院にお渡しください。

私は市民歯科健診を受診しました。 切り取り線

● 受診日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

● お名前: _____

● ご住所: 豊中市 _____ (町名)

● 年齢: ○をつけてください
30代、40代、50代、
60代、70代、80歳以上

※ 詳細はこちら(左)

お口の健康づくり ワンポイントアドバイス

1. 鏡で歯ぐきの状態を観察しよう。
2. かかりつけの歯医者さんをもとう。
3. 正しいブラッシングを身につけよう。
4. 定期的に健診やお口の清掃をしてもらおう。

★ 詳しくはかかりつけ歯科医や
歯科衛生士にご相談ください。

このチラシは歯科医師 監修
本キャンペーンは、(財)豊中市歯科健診協会の協力を得て、豊中市健康づくり推進課(公)豊中市会、市民
歯科健診センターが主催する「お口の健康づくり」プロジェクトの一環として実施しています。
お申し込みは、本会を主催する「お口の健康づくり」推進委員会(財)豊中市会、市民歯科健診センター
までお申し込みください。詳しくはお問合わせください。
豊中市健康づくり推進課 電話 66558-2291 担当

(2) 歯科健診受診勧奨イベントを開催

ワークショップ B (中部) グループは、「まず知ろう！お口の中を」をキャッチフレーズに、市民歯科健診ビデオの作成やブラッシング講習、啓発パネルの展示などの開催、来場者や市役所来庁者に歯科健診受診勧奨チラシを配布するなどして啓発を図りました。

1. と き 平成 17 年 (2005 年) 1 月 25 日 (火) 10 時～16 時

2. と ころ 豊中市役所第 2 庁舎 1 階市民ロビー

3. 内 容 「自分の歯は何本？」

(1) 歯科健診体験レポート

ワークショップ参加者が、歯科健診を受けたときの印象、その後の行動などを語ります。

(2) 歯科衛生士による歯磨きミニ講習 (①11:30 ②12:30 ③13:30 各 25 分)

(3) 市民歯科健診ビデオ放映

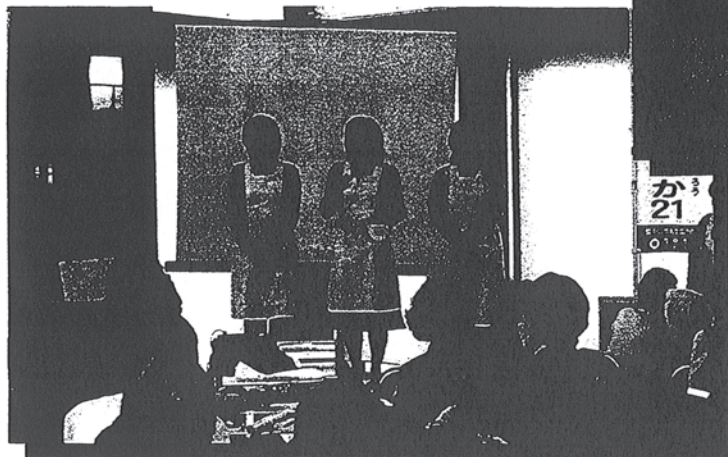
(4) 「歯の健康」パネル、桜井谷東小学校 5 年生の歯の図画展示

(5) 歯科健診受診勧奨チラシの配布



イベントのためBグループだけで打ち合わせを3回行いました。

また当日の放映に向けて、(社)豊中市歯科医師会、サンスター(株)の協力で「市民歯科健診案内ビデオ」を作成しました。



前日準備、当日受付、講習会への参加呼びかけや後片付まで、応援に駆けつけた健康づくり推進員の皆さんと一緒に実施しました。

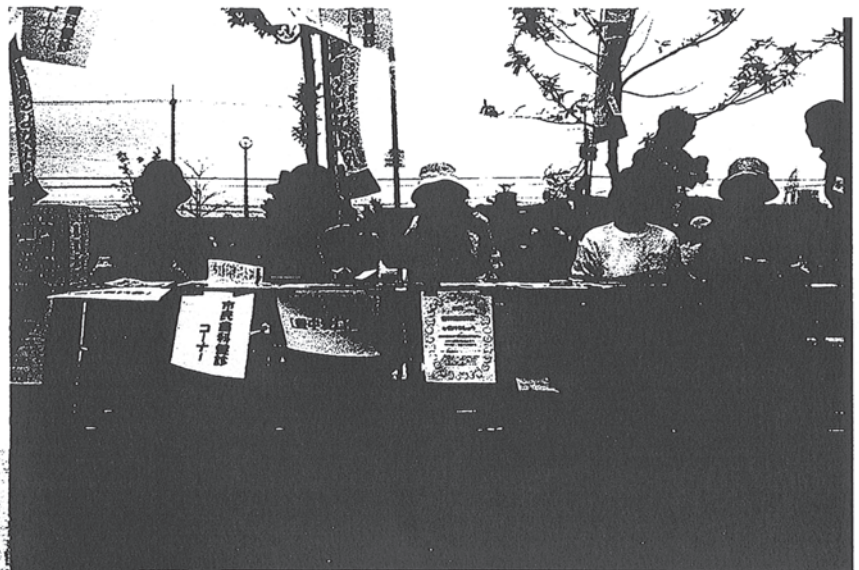
(3)地域密着型イベント活用と「口コミ」メッセージ

ワークショップC(南部)グループ「豊中愛口会」は、市民を対象にした「健康づくりふれあいウォーク」(2004.10.31)を手始めに、地域での文化祭や健康教室、イベントの際に歯科健診受診勧奨チラシを配布するなどして啓発を図りました。

1. とき 平成16年(2004年)10月31日(日)~17年(2005年)2月20日(日)
2. ところ 豊中市南部地域ほか
3. 内容 地域での文化祭や健康教室、イベントの際に歯科健診受診勧奨チラシを配布

健康づくり推進員会主催事業「健康づくりふれあいウォーク」にて。

ゴール地点に「豊中愛口会」のコーナーを設けました。



右のチラシを見て市民歯科健診を受けることにした人は記入欄に名前を書いて出してもらいます。

歯ブラシのプレゼントつきです。

市民 歯科健康診査 を受けましょう

「体の健康はお口の健康づくりから」
あなたの歯は笑顔かな？
それとも・・・泣きべそ顔！？

企画：(豊中愛口会)
豊中愛口会は、「お口の健康づくり」プロジェクトに参加する、市民のボランティア団体です。市民の立場で、市民歯科健診をお勧めしています。

豊中市の市民歯科健診について

- 対象者：30歳以上の市民
・登録済の歯科健診がある場合は対象外
- 費用(一部負担金)：200円
・70歳以上の人は無料です。丹波阿倍郡、工芸交流世界の人は、一部負担金の不費負担があります。(費中込)
- 受診方法：市発行の「受診票」を持って、取扱い歯科医院へ。
・歯科健診は年1回(期間：4月~毎年3月)受診することができます。
・取扱い歯科医院は、お問合せください。市のホームページでご確認ください。
・予約が可能な場合がありますので、必ず各取扱い歯科医院にお問合せください。

市民歯科健診に関するお問い合わせは
豊中市健康づくり推進課
TEL 6858-2291

主催 豊中市健康づくり推進員会
問合せ：豊中市健康づくり推進員会事務局
(豊中市健康づくり推進課内)
TEL 6858-2802(加藤)

このチラシを見て市民歯科健診を受けようと思われた人は、必要事項を記入して、回収箱に入れてください。

私は市民歯科健診を受診します。

●お名前(カタカナでお願いたします)： _____

●ご住所(〒 _____) 豊中市 _____

●電話番号： _____ ●生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

●受診票(どちらの歯科医院に行きたいか)を付けてください
先受診票は行っている
先受診票は行かない

注 豊：平成16年4月以降に、既に市民歯科健診を利用したことのある人は受診することができません。

5 結果

3つの目標について

① 市民歯科健診の受診率をあげる

今回市民歯科健診の受診率をあげることは出来ませんでした。しかし、参加した市民が今後も身近な家族や友人に健診の大切さを伝えていくことで、少しずつ健診を受ける人が増加していくと思われます。

② 歯科医による検診やアドバイスで、正しいお口のケアや知識を身につける

参加した市民はワークショップの中で自分の問題に「気づき」、遠い存在であった歯医者さんと身近にコミュニケーションがとれたことで親しみと信頼感が生まれました。そして「お口の健康づくり」と歯科健診の意義について正しく「理解」することができました。

市民と歯科医が課題を共有し、かかりつけ歯科医をもつ人の増加をめざす

今回ワークショップに参加した市民は歯科健診の意義を理解した上で受診しました。また豊中市歯科医師会の協力で各歯科医院側の受け入れ態勢が整い適切に対応してもらうことができました。その結果、ワークショップ参加市民は今後も受診した歯科医院をかかりつけ歯科医として、続けて健診を受けていこうと思っています。

今後の課題と提案について ～参加した23名からの報告～

今回、市民歯科健診の受診率をあげるため、市民が主体となってアイデアを出し合い啓発活動を行ってきましたが、受診率の大幅増には至りませんでした。この結果は「お口の健康づくり」に対しての、市民の知識と関心の低さを示しているとも考えられます。

豊中市健康づくり推進委員会としては市民の「お口の健康づくり」を推進するために今後もその普及啓発に取り組んでいく必要があると思われます。

そのために解決すべき課題を4つにまとめました。

課 題	提 案
<p>1 健康づくり推進委員会の取り組み体制の整備</p> <p>今後も引き続き「お口の健康づくり」啓発活動を実施するためには、中心となって検討や活動を行っていくためのグループが会内部に必要だと思えます。</p> <p>また今回は参加者の校区での活動にとどまってしまいました。今後は会全体の取組みに展開していけるように、グループを中心に体制を調べていく必要があると思えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健推員会内部での「お口の健康づくり」グループの発足 ・取り組みを会36校区全てに拡大
<p>2 関係諸団体との連携</p> <p>健康づくり推進委員会という一つの団体単位では活動の可能な範囲が限定されてきます。そこで各団体が手をつなぎ得意な分野を担いながら協同して取り組んでいくことで効率・効果的な活動を展開していけると考えられます。</p>	<p>以下の関係団体等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(社)豊中市歯科医師会 ・(社)大阪府歯科衛生士会 ・事業者 ・大阪府豊中保健所 ・豊中市
<p>3 啓発活動の重点対象</p> <p>本会が地域の「健康づくり」リーダーとなることを目指し、まず全健推員への啓発と知識の向上に取り組むことが必要です。</p> <p>また8020達成に向けては、より若い層や子どもへの働きかけも今後は重要となってきます。</p>	<p>今後重点を置いて取り組むべき対象</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健推員会会員 ・若い層 ・子ども
<p>4 今後の取り組み</p> <p>各健推員の身近なご近所の人たちに口コミで「お口」の情報を伝えるという方法が地域に根ざした健康文化づくりにつながると思われます。</p> <p>また同時に「お口」の健康づくりの各種イベントは地域のムードづくりになり個々の健康づくり行動の強化にもつながってきます。</p> <p>身近な地域での活動と、市民全体への啓発活動の組み合わせが今後の取り組みとしては重要だと考えます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域への口コミ活動による啓発 ・「歯の衛生週間」「いい歯の日」などでのイベントの実施 ・市民歯科健診キャンペーンの毎年実施

6 おわりに

半年間のワークショップ事業の中で、「お口」に関心のなかった23名の市民が、「気づき」「理解」「行動」というステップを経て「お口の健康づくり」に目覚め、自ら行動する市民へと生まれ変わりました。

これは、健康づくり推進委員会を中心とした本事業に、関係団体・組織がこれまでにない形でご支援、ご協力いただいたことが、このような結果を生み出したといえるのではないでしょうか。

その中でも豊中市歯科医師会のご協力によって、ワークショップという場で歯科医師と市民が同じ目線でコミュニケーションを図ることが実現できました。その結果、事業の結果を大きく変える重要な役割を担っていただくこととなりました。

さらにサンスター(株)には、企画から実施、評価など全般にわたり、社会貢献という視点で事業所のもつノウハウを提供していただきました。

このような協働作業から、このワークショップ事業が実現し、市民の中に健康づくりの芽を見出すことができたのだと思います。

次のステップは市民の中に生まれた芽を大事に育てはぐくんでいくことです。そのためには市民とともにどのように協働し、どのような役割を担っていけるのでしょうか。これからも共に考え、健康とよなか21「お口の健康づくり」運動を推進していきたいと思ひます。